［山口県］

宇部フロンティア大学付属香川高等学校
ユネスコ部

高校生ボランティア・アワード2023

活動概要

安全ポスターの制作･配布　安全グッズの製作・販売

チャリティーバザー　街頭募金　寄付活動

◎反射材を用いた
安全ポシェット
安全リストシュシュ　＞の製作
➡ 地元警察署に出荷 ➡ 地元住民の反射材の普及

◎小物（縫製用品など）の製作
➡ チャリティーバザーやワークショップでの販売 ➡ 発展途上国や国内被災地の教育資金として寄付

◎街頭募金（世界寺子屋運動）

地元の縫製会社から廃棄用生地をもらい、反射材を縫い込んだ安全ポシェットやリストシュシュを製作しています。
ポシェットは被服製作の授業で余ったフリルやレースを活用して反射材と共に縫い込み魅力的なデザインにしています。肩ひもも反射材になっています。携帯や、ペットボトル、財布などを入れる事でタスキ型反射材よりも肩から落ちにくくなりウォーキングにも重宝していると評判です。リストシュシュは帰宅時、うす暗くなったら即バックから取り出し、手軽に手首に装着できるので地元の方々にも好評です。
これら安全グッズは地元の警察署に出荷したり、バザーで販売したりしています。売上金は国内被災地や発展途上国の子どもたちの教育資金として寄付しています。

製作活動

地元の縫製会社から廃棄布を調達

反射材ポスター

地元住民の反射材普及を促すポスターの制作･掲示→全国へ配信

活動目的・志

「私たちの力で社会が変わる」

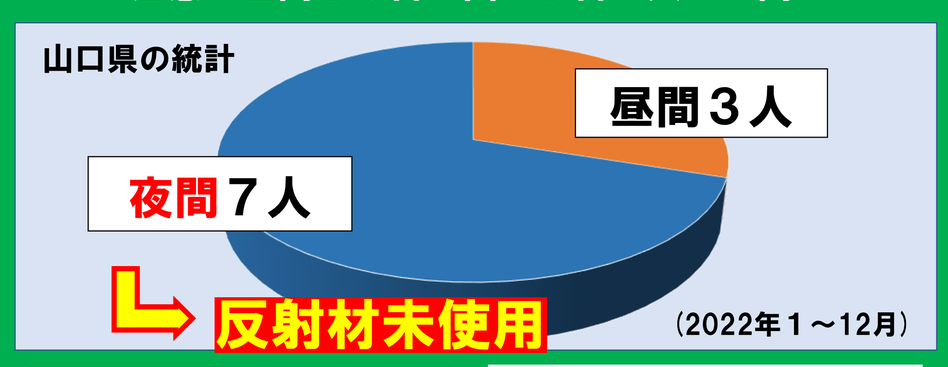
私たちの 知識・技術・時間 を使って、より良い社会づくりを目指しています。

私たちユネスコ部の活動目標は、日中より多い夜間事故の被害者・加害者をなくす事と安全グッズや小物の売上金を国内外問わず恵まれない子供たちに教育資金として寄付することです。

◎下記の統計のように、地元山口県では夜間の歩行者事故による死亡者は昼間の２倍以上です。犠牲者の全員が、反射材を付けていませんでした。もし、反射材を付けていたら助かった命もあったかもしれません。
私たちは夜間事故の死亡者ゼロを目指し、コツコツと安全グッズを製作し普及に努めます。

歩行者事故死亡者10人中の昼・夜別統計図

注意：昼間とは日の出から日の入りの間



［　上の写真のように反射材の効果は絶大　］

反射材であなたの命が守れます。

マスク・ポーチ・アクセサリー・安全グッズを製作・販売し、寄付したり、街頭募金をすることで貧困・災害で苦しむ多くの子供たちが資金不足のために、教育や自立を妨げられることのないように地道に継続しています。

地元の祭りでチャリティーバザー

活動実績

交通事故防止
・
子供達の教育支援

販売（チャリティーバザーの開催・警察署の出荷）
➡ 寄付（国内被災地・発展途上の子供達へ）
➡ 製作（安全グッズ・その他小物）
➡ 販売

安全ポシェット

反射材付き安全グッズの製作

- 地元の警察署へ出荷
- チャリティーバザーで販売（地元の祭りや文化祭にて）

反射材の普及　（収益金の寄付）

小物製作

（マスク、アクセサリー、キーホルダー、ポーチ、等）

- チャリティーバザーの開催
- ワークショップの開催
- 街頭募金活動（世界寺子屋活動）

収益金の寄付

今後の展望

地元では過疎化が進み、街灯の少ないところも沢山あります。そのような環境下、高齢者人口が増えるにつれ交通事故の犠牲者も今後ますます増加することが危惧されます。反射材の効果をもっと知っていただき、「夜間外出には反射材」の合言葉で、より多くの住民に活用していただきたいと願っています。その為に私達はこの度、反射材の効果がいかに大きいか、夜間死亡事故がいかに多いか、を示すポスターを製作しました。地元での掲示は勿論、全国的にもこのポスターを活用していただけるよう、配信しているところです。また、授業で学んでいる縫製技術・デザイン力を磨き、より魅力的な安全グッズを開発し普及に努めていくことで、交通安全の啓蒙に繋げていきます。更に地域の実態や、使用される方々の希望を調査し、実状に合った活動内容へと進化させていきます。
『平和を築くには、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みが必要不可欠。未来を切り拓く力は基本的人権である「教育」によって育まれる。』のユネスコの理念に基づき、今後も小物製作・チャリティーバザー・街頭募金に自分の多くの時間を費やし、災害や貧困で学びをあきらめる子供達が一人でも減少するよう頑張っていきます。

活動団体プロフィール

３年生５名・１年生４名で活動しています。皆生活デザイン科で被服製作の授業が多いので、販売するからにはプロ意識をもって製作し、不良品を出さないよう十分に点検して出荷しています。１つでも多く製作し、貧困や災害に苦しむ子供達が十分な教育を受けられるよう頑張っています。